

# 災害のときのラジオ

## コミュニティのための 番組・放送をいかにつくるか

2018 年 11 月 23 日 (祝、金) 14:00~16:30 (開場 13:30)

光塾 COMMON CONTACT 並木町

参加費：1000 円 (学生 500 円) / 市民研会員は半額かつ同伴者割引あり / 事前予約が必要です (定員 40 名)

講師 (登壇者)

佐々木健二 (株式会社ジェイクランプ)

長崎励朗 (桃山学院大学社会学部准教授) 瀬野豪志 (「蘇音」主宰、市民科学研究室理事)

協力

金子智太郎 (東京藝術大学非常勤講師)

1992 年の放送法改正によって始まった市町村を単位とする「コミュニティ FM」は、災害のときのラジオとしてその役割が認められてきました。1995 年の阪神・淡路大震災後、「臨時災害放送局」の制度が始まり、臨時災害放送局がのちにコミュニティ FM の開局につながることもあれば、コミュニティ FM が災害時に臨時災害放送局に切り替わることもあります。これまで全国各地のコミュニティ FM の番組づくりに携わってきた佐々木氏を招き、これまでの「災害のとき」のラジオの役割について、これからの「コミュニティ」の番組づくりについて、客席からの「投稿」を取り上げるラジオ番組の形式でトークします。日本ではなぜ災害時にコミュニティの番組が必要とされるのか、地域のコミュニティのための番組づくりとは具体的にはどういうことなのかを、参加型のラジオ番組の形式を通じて話し合います。



お申し込みは市民研ホームページ  
[www.shiminkagaku.org/](http://www.shiminkagaku.org/)  
の専用サイトでも受け付けています

市民研  
NPO法人 市民科学研究室

@

光塾

COMMON  
CONTACT  
並木町

お申込み・お問い合わせ：03-5834-8328 renraku@shiminkagaku.org

## ●市民科学講座について

市民科学研究室が主催（あるいは共催）する市民科学講座は次の4つのコースがあります。

**Aコース**……外部講師（主として自然科学系の研究者）を招いて、特定のテーマで行う学術的な講演会

**Bコース**……“科学と社会”をめぐって幅広いテーマをとりあげての、あるいはゲストの活動や言説に焦点をあてての、参加者と自由に語り合う講座

**Cコース**……市民研の各研究会が担う、研究発表もしくは様々な形でのイベント

**Dコース**……市民研事務所を使って軽食をとりながら、ゲストと少数の参加者との間で交わす気さくな談話の場

## ●光塾へのアクセス



JR 渋谷駅の新南口改札から徒歩1分。

渋谷駅からは外に出ず、

埼京線への乗り替え連絡通路で新南口に出ると便利。

渋谷区渋谷3-27-15 光和ビル地下1階

tel. 03-6427-6462

## 市民科学研究室とは

市民科学研究室は(1) 科学技術にかかわる様々な意思決定や政策形成への市民参加、(2) 様々な社会問題の解決に向けた専門知の適正な活用、(3) "持続可能で生き生きとした生活"のための科学研究や教育の実践、に取り組んでいるNPOです。市民の問題認識力を高めるための講座や勉強会を運営し、市民が主体となった調査研究や政策提言や支援事業をすすめています。リビングサイエンス(=生活を基点にした科学技術)という概念を手がかりに、様々な角度から「生活者にとってよりよい科学技術とは」を考え、そのアイデアを実現していこうとしています。

## 市民科学研究室と関わっていただくための窓口

市民研は様々な活動を日々展開しています。市民研に関わっていただくための方法も様々です。以下のいずれについても詳しくはホームページでご案内していますが、お気軽にお問い合わせいただければ、と思います。

- ▶ 会員になる: 年間3000円「ダーウィン会員」と年間1万円の「レイチェル会員」
- ▶ 寄付をする: オンラインからも「一口1000円」で受け付けています
- ▶ イベントに参加する: 市民科学講座が毎月2回ほど Web会議システムでの参加も可
- ▶ 研究会に参加する: 会員であることが必要 Web会議システムでの参加も可
- ▶ 作業を手伝って支援する: アルバイト(有償)となる作業もあります
- ▶ 記事論文読んでコメントを送る: ホームページの各記事のコメント欄から
- ▶ 出版物や動画を購入・視聴する: ホームページの「動画配信」「出版物・販売物」より
- ▶ 講演や出前講座を依頼する: 電磁波計測、子ども料理科学教室などもあります
- ▶ 会議室を借りる: 15人までが座れる広めのスペース 1時間1000円です
- ▶ 連携団体となり一緒に事業をすすめる: これまで様々な助成で実現してきました
- ▶ 科学技術に関して気になることを相談する: 常時メールで受け付けています
- ▶ 新たな研究や活動のテーマを提案する: 皆さんのアイデアを求めています!